

全報連会長交代

7月12日、愛知県刈谷市で全国報徳団体連絡協議会総会が開かれ、田島会長が退任、後任に愛知報徳会の尾島輝雄氏が選任されました。氏は美合セミナーの事務局を長年担当しておられました。が今後は全報連の新しい展開にご活躍が期待されます。

前任の田島会長は実践活動を重視し、相馬報徳会の再興や「報徳楽校」の創設等に注力されました。

里山倶楽部

「倉馬の里」夏草刈り

6月22日

カンナ園の平地部分を里山倶楽部メンバー、地主、地元の茶農家、総勢8名で草刈り、セイタカアワダチソウや笹に難儀しました。反省会には帰化した米人マルコムさんも加わり賑やかにりました。

7月8日

臨時活動日、8名参加。熱中症が心配される猛暑の中、棚田部分の草刈り、作業終了後は倉真温泉入浴後ビールで乾杯。

倉馬の里には秋の7草のうち6

種が自生、大切に保護したい。

翌7月9日は新人の細谷さん、前田姉妹の女性人が活躍。

お宮の境内のアジサイは故橋爪さんの苦勞の賜、そのアジサイに色を添えるべく、5種類250本を差し木しました。うまく活着することを願います。

「倉馬の里」の新しい仲間

間

細谷さおりさん

野菜だけでも自給自足で育てたいけど、まだ先のことだろうなあ。と漠然と思いついていた私ですが自然食品の、セイケンさんでの穀食菜の講演会で、必然に?! 溝口さんと藤本さんと相席になり、気がついて「倉馬の里」で畑を耕しておりました。ド素人丸出しの私ですが「倉馬の里」の方々の温かいご支援・ご指導のもと6種類の野菜を植えました。おまけに嬉しいことに、両親も興味を持ってくれて私よりも草取りに精を出しています。素晴らしいステージを用意して頂いた

先輩方に心より感謝する日々です。どうぞよろしくお願ひいたします。



写真は初収穫のナスとピーマンを両手の細谷しおりさん

松井さんの掛川方言番付表

中日新聞に掲載される

NHKの朝ドラ『あまちゃん』の高視聴率の影響でちよっとした方言ブームの感があります。編集長松井さんは長年「掛川方言番付表」を手がけている隠れた市井の研究者です。(藤本) よそ者にとつて初に意識する違和感と方言である。私もこちらにきて最初は「いかい」「がんこ」「舎弟」「小僧」の4つの方言はよく耳にし、また戸惑った。「いかい」はでかいとか大きい、がんこは普通でない。「舎弟」は弟の意味でヤクザ言葉ではない。また「小僧」は息子のこと



中部新聞に掲載されの方言番付表記事と番付表を手にする松井さん

である。「倉馬の里」の地主さんが勤める磐田の会社には女子ソフトボールチームがあり、全国の女子高から選手が集まる。彼女たちがまず最初に意識するのは「方言」で、そこで活躍するのが壁に張り出された松井さんの掛川方言番付表。この番付表を肴に全国各地の方言に話が弾むようだ。

日本を2分する大地溝帯が近くを走る掛川はいろんな文化の融合点であり、分離点である。切り餅と丸餅、濃い味と薄味などの食文化が併存する地域である。また県民性もこのあたりを境にして西と東では異なるようだ。

そうした文化の違いが掛川や遠州の独特の言い回しに表れている気がする。市井の方言研究家松井さんのさらなるご健闘を期待します。